

じゅう に
 ～学校中に12ヶ条～

十二中授業スタンダード



『まなぶ』

自ら判断し考えるために情報を入力



(ルーティン項目)

- ・話し手に体を向けて聞く
- ・反応しながら聞く(うなずく、相づちなど)
- ・興味を持って聞く
- ・最後まで静かに聞く
- ・大切な内容はメモをとる
- ・わからないことを一度は自分で調べる

(トレーニング項目)

- ・自分の考えと比べながら聞く
- ・意見と事実を区別して聞く
- ・自分の意思をもって正確に知ろうとする
- ・話し手・書き手の立場や思いを考えながら聞く・読む
- ・聞いたり読んだ後、質問したり意見を言ったりする
- ・図や表から分かることを読み取る



『つくる』

自らの未来を創造するために情報を整理



(トレーニング項目)

- ・理由を考える
「～だからです」「なぜなら～」
- ・具体的に考える
「例えば～」 「～という経験があります」
- ・比較する
「～と同じように」「～と比べると」
- ・仮定する
「もし～だとしたら」「もし～ではなかったら」「～の場合」
- ・順序だてて整理する
「まずは」「つぎに」「さいごに」
- ・様々な角度から物事を見る
「一方で」「言いかえたら」
- ・相手の主張に意見をもつ
「～に賛成です」「～に反対です」「～はおもしろいね」
- ・目的を明確にする
(何のために考えているか)
- ・分類する
(同じところ、似ているところ、異なるところを考える)
- ・変化をとらえる
(何が違うのか、なぜ違うのか、違ったらどうなるのか)
- ・関連を考える
(結果や原因を考えてつなげていく)
- ・自分の意思をもって深く考える
(なぜこうなるのだろうか⇒調べてみよう、聞いてみよう)



『つながる』

自らの考えを伝えるために情報を表現



(ルーティン項目)

- ・場面にあった声の大きさ・言葉遣いで話す
- ・相手の目を見て話す
- ・身振りや手ぶりを使って伝える
- ・丁寧な字で書く
- ・場面に合った言葉遣いで書く

(トレーニング項目)

- ・順序だてて話す
- ・聞き手の反応やつぶやき、表情を読み取って話す
- ・意見を言う時は理由も伝える
- ・相手に合わせて伝え方を工夫することができる
- ・他の人の発言や発表を引用する
- ・「いつ/だれが/どこで/何を/どうして/どのように」を明確にする